

第11回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール開催報告

第11回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールは、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催のもと、8月26日～28日の日程で行われました。サマースクール運営に携わった筑波大学 岩室憲幸教授にお話を伺いました。

TIAパワエレMG主催のTIAパワーエレクトロニクスサマースクールは、今回で第11回目となりました。新型コロナウイルスの影響により、昨年に引き続きWeb講義形式での開催となりましたが、例年通り学生、企業から多くの受講希望があり、受講者は123名でした。

カリキュラムは三日間にわたり、1日目基礎、2日目応用、3日目最先端として、14名の講師によりそれぞれ90分(大学講師)、60分(企業講師)の講義をいただきました。世界的にも著名な木本教授、赤木教授、松波教授や、企業の第一線で研究開発に携わる講師による例年の講義に加えて、新たに、パッケージ技術に関して大阪大学の菅沼教授、Ga₂O₃に関して株式会社FLOSFIAの四戸氏、さらには2名の海外講師Prof. Marta Molinas (Norwegian University of Science and Technology)、Prof. Alberto Castellazzi (京都先端科学大学)から英語で講義をいただきました。各講義後は、受講者による活発な質疑が行われました。

第1日目 基礎(パワエレ基礎、ポスターセッション)

第2日目 応用(各分野の現状と展望)

第3日目 最先端(海外講師による講義を含む)

また、学生のポスター発表(32件)、およびTPEC企業紹介(4件)を、入退室自由のブレイクアウトセッション形式で開催しました。学生の発表にはコアタイムを設け、3班に分けて発表を行いました。面白かった、たくさん質問をしていただき良い経験となった、知見をお互いに深められた、貴重な時間だった等の他、企業紹介についても興味深い内容で印象的だった、大学側にない視点を直接聞くことができた、仕事のことについて聞けた等の感想も寄せられました。

スクール全体を通して、大きなトラブルなく開催できたことについて、講師の皆様および受講者各位に感謝いたします。



| | |
|------|--|
| 開催日 | 2022年8月26日(金)～28日(日) |
| 場所 | WebexによるWeb講義形式 |
| 主催 | TIAパワーエレクトロニクスMG、産業技術総合研究所 |
| 共催 | 筑波大学大学院数理物質科学研究群 |
| 後援 | TIA運営最高会議 |
| 参加人数 | 123名 内訳：学生 62名(大学院生 44名、学部・高専生 18名) 社会人 61名(TPEC参画企業 52名、一般企業 8名、公的機関 1名) |

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp
〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1